

3 報告書記入要領 (法の届出は化管法届出記入要領を参照してください)

様式 16

特定管理化学物質排出量等報告書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

(あて先) 札幌市長

報告者 住所 〒060-0001

札幌市中央区北1条西2丁目

氏名 株式会社 さっぽろ

代表取締役社長 札幌 太郎

(法人にあっては名称及び代表者氏名)

※1～※9は
p13～14に詳細説明

※1

札幌市生活環境の確保に関する条例第84条の規定により、特定管理化学物質の排出量等について、次のとおり報告します。

事業場	名称	株式会社 さっぽろ 札幌支店		※2	
	前回報告時の名称	株式会社 札幌 札幌支店 株式会社 札幌燃料 札幌営業所		※3	
	所在地	〒060-0001 札幌市中央北条西2丁目		※4	
	事業場において行われる事業が属する業種	業種名	業種コード	※5	
		(うち主たるもの) 出版・印刷・関産業	1900		
	燃料売	5930			
場	常時使用従業員数	20人	※6	※7	全事業場の常時使用従業員数 25人
特定管理化学物質の排出量等		別紙1～〇のとおり			
担当部署	担当部署名 環境部 対策課 担当者名 札幌 花子 (さっぽろ はなこ) 電話 / F A X 011-211-2882/011-218-5108 電子メールアドレス kanko@aa.bbb.com		※8	※9	
※受理年月日			※整理番号		

注1 この報告書は、事業場ごとに作成してください。

2 前回報告時の名称の欄には、変更された場合のみ記入してください。

3 事業場において行われる事業が属する業種の欄には、日本標準産業分類の中分類項目の当該事業場における主たる事業に属する業種を最上欄に記入し、2以上の業種に属する事業を行う事業場にあつては、次欄以降にその他の業種を記入してください。また、業種コードの欄には、業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

4 常時使用従業員数の欄及び全事業場の常時使用従業員数の欄には、前年4月1日現在(前年度中に事業を開始した事業者においては事業を開始した日)における当該事業場の人数及び全事業場の人数を記入してください。

5 ※の欄には記入しないでください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

- ※1 『報告者』
報告者の住所、氏名（法人にあっては名称及び代表者氏名）を記入して下さい。
郵便番号は7桁で記入し、その地区で通常用いられる郵便番号を記入して下さい。
報告者は、法人にあっては代表者の氏名を記入して下さい。押印は法の届出の際
は必要ですが、条例は必要ありません。
- ※2 『(事業場の) 名称』
事業場の名称を記入して下さい。
複数の事業場を有する事業者にあつては、それぞれの事業場の区別が付くように、
事業場毎に異なる名称を記入して下さい。（特に名称がない事業場にも、本提出の便
宜を図るため、適切な名称を付して下さい。例：本社、〇〇工場）
- ※3 『前回報告時の名称』
前回報告時における名称から変更された場合（事業場の名称変更、合併等の場合）
のみ記入して下さい。（報告初年度は必要ありません。）
合併もしくは買収した場合は、合併もしくは買収前の事業場名を全て記入して下
さい。
- ※4 『(事業場の) 所在地』
事業場の所在地を記入して下さい。
郵便番号は7桁で記入し、その地区で通常用いられる郵便番号を記入して下さい。
- ※5 『事業場において行われる事業が属する業種』
「業種名」にはp7、2（3）対象業種（表2）に書かれた表の中から、当該事業
場において行われる事業が属する対象業種を記入して下さい。
「業種コード」にはp7、2（3）対象業種（表2）に書かれた表の業種名に対応
する業種コード（4桁）を記入して下さい。
（業種の考え方）
複数の業種を営む事業場にあつては、貴事業場が営んでいる業種の中から届出
の対象となっている業種を全て選択し、その中から事業場における主たる事業が
属する業種（対象業種の中で製造品等の出荷額・売上額が最も多い業務に関係す
る業種名）を最上欄に記載し、次欄以降にそれ以外に営んでいる対象業種を記入
して下さい。
例：塗装工事業（10億円）、燃料小売業（7億円）、塗料卸売業（3億円）、自
動車卸売業（2億円）、商品検査業（1億円）の業種（売上高）の場合
主たる業種 燃料小売業 5 9 3 0
自動車卸売業 5 2 2 0
商品検査業 8 6 2 0
- ※6 『(事業場の) 常時使用従業員数』
当該事業場における常時使用される従業員の人数を記入して下さい。
常時使用人数の考え方は、p9、2（4）常時使用従業員数を参考にして下さい。
- ※7 『全事業場の常時使用従業員数』
札幌市内にある事業場全体の常時使用従業員数を記入して下さい。P9 参照

※8 『特定管理化学物質の排出量等』

添付する別紙の枚数を記入して下さい。(別紙の記載例は p15～)

※9 『担当部署』

報告の受理後、札幌市から内容等について問い合わせさせていただくことがありますので、本報告の担当者の所属する部署、氏名（できればふりがなをお願いします。）、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレスを記入して下さい。

※ 提出方法

本届出を受理した後、写しの返却を希望される方は、2部提出してください。提出の方法としては、下記住所へ、持参いただくか、郵便等で送付して下さい。

提出先

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目（市役所本庁舎12階）

札幌市 環境局 環境都市推進部 環境対策課

TEL 011-211-2882 FAX 011-218-5108

特定管理化学物質の排出量等

(単位：kg/年)

特定管理化学物質の 項 の 番 号	15	63	※1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ※1～※13は p16～ </div>
特定管理化学物質 の 名 称	キシレン	ベンゼン	※2	
使 用 量	8,200	460	※3	
製 造 量	0	0	※4	
製品としての出荷量	7,100	440	※5	
環 境 へ の 排 出 量	報告済み	22	※6	
大 気		22	※7	
公 共 用 水 域		0	※8	
そ の 他		0	※9	
事業場外への移動量	報告済み	0	※10	
廃 棄 物		0	※11	
下 水 道		0	※12	

注1 特定管理化学物質の項の番号の欄には、札幌市生活環境の確保に関する条例施行規則別表9に掲げる特定管理化学物質の該当する項の番号を記入してください。

2 使用量は、「当該年度当初在庫量+当該年度受入量-当該年度末在庫量」としてください。

3 製品としての出荷量には、製品に含まれて出荷された量も含めてください。

4 環境への排出量のその他の欄には、大気及び公共用水域以外への排出量の総計を記入してください。

5 別紙が2枚以上になる場合は、それぞれに番号を付けてください。

- ※1 『特定管理化学物質の項の番号』
規則第46条別表9におけるそれぞれの物質ごとに付された番号(1～69)をアラビア数字で記入して下さい。(規則第46条別表9はP10～11、2(6)対象物質を参照して下さい。)
その際、数字の小さい順に並べて下さい。
- ※2 『特定管理化学物質の名称』
規則第46条別表9に掲げる名称(別名がある場合には別名)を記入して下さい。
複数の別名がある場合には、どの別名を記入してもかまいません。P10～11 参照
- ※3 『使用量』
使用量の把握対象年度(報告の前年4月1日～報告の年の3月31日)1年間における特定管理化学物質ごとの使用量(p18に記載する算出方法を参考にして下さい。)を記入して下さい。
- ※4 『製造量』
製造量の把握対象年度(報告の前年4月1日～報告の年の3月31日)1年間における特定管理化学物質ごとの製造量(p18に記載する算出方法を参考にして下さい。)を記入して下さい。
- ※5 『製品としての出荷量』
製品としての出荷量の把握対象年度(報告の前年4月1日～報告の年の3月31日)1年間における特定管理化学物質ごとの製品としての出荷量(p18に記載する算出方法を参考にして下さい。)を記入して下さい。
なお、製品としての出荷量には以下の製品は含みません。
(1) 事業者による取扱の過程において固体以外の状態にならず、かつ、紛状または粒状にならない製品
(2) 第1種指定化学物質(または特定管理化学物質)が密封された状態で取り扱われる製品
(3) 主として一般消費者の生活のように供される製品
(4) 再生資源(資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)第2条第4項に規定する再生資源を言う。)
- ※6 『環境への排出量』
排出量の把握対象年度(報告の前年4月1日～報告の年の3月31日)1年間における特定管理化学物質ごとの排出量の合計(p18に記載する算出方法を参考にして下さい。)を記入して下さい。
法で届け出ている場合には、「報告済み」と記入して下さい。
- ※7 『大気(への排出量)』
環境への排出量のうち大気への排出量を記入して下さい。
法で報告している場合は、記入する必要はありません。
- ※8 『公共用水域(への排出量)』
環境への排出量のうち公共用水域への排出量を記入して下さい。
法で報告している場合は、記入する必要はありません。

※9 『その他（の環境への排出量）』

環境への排出量のうち大気及び公共用水域以外の環境中への排出量を記入して下さい。（土壌中や事業場内にある埋め立て地への排出など）

法で報告している場合には、記入する必要はありません。

※10 『事業場外への移動量』

移動量の把握対象年度（報告の前年4月1日～報告の年の3月31日）1年間に
おける特定管理化学物質ごとの移動量の合計（p19に記載する算出方法を参考にし
て下さい。）を記入して下さい。

法で届け出ている場合には、「報告済み」と記入して下さい。

※11 『廃棄物（としての移動量）』

廃棄物の処理を行うため、廃棄物に含まれて事業場の外へ移動した化学物質の量
を記入して下さい。なお、有価物は廃棄物ではありませんので移動量として届出を
する必要はありませんが、製品としての出荷量に計上してください。

法で報告している場合には、記入する必要はありません。

※12 『下水道（への移動量）』

排水に含まれて事業場から公共下水道へ放流した化学物質の量を記入して下さい。

法で報告している場合には、記入する必要はありません。

※13 『別紙（番号）』

別紙が複数枚にわたるとき、別紙の番号を通し番号で付けてください。

※注 **数字の扱いについて**

数字は上から3桁目を四捨五入して有効数字2桁にして下さい。1kg未満の場合
には、小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位までにして下さい。

四捨五入の結果0.0になるもの又は0のものについては、「0」と記入して下さい。